

基本構想答申案の修正について（案）

〇パブリックコメントに伴う修正【11箇所】

| 修正箇所 | 答申案 | 意見概要 | 修正後答申（案） | 修正理由 |
|---|---|--|--|---|
| 2 ページ 第 1 基本構想策定の背景 (3) 現基本構想に基づいた区の取組の振り返り | 〇審議会の委員からは、この間の各分野における取組の方向性について、総じて概ね評価できるとの意見でしたが、一方で、今後さらに推進していくべき課題についても様々な意見が出されました。 | ・現基本構想のどこが達成できて何が不十分か、特に未達成の部分をはっきりさせてほしい 等 | 〇審議会の委員からは、この間の各分野における取組の方向性について、総じて概ね評価できるとの意見でしたが、一方で、 <u>デジタル化に向けた対応の遅れや、地域社会の担い手の高齢化・固定化といった課題への対応、さらには、効果的な情報発信に向けた工夫が必要との意見など、今後さらに注力していくべき課題についての指摘がありました。</u> | わかりやすい表現となるよう、審議会から出された今後の課題の具体例を追記 |
| 6 ページ 第 2 基本構想を貫く 3 つの基本的理念 | 〇認め合い 支え合う 様々な価値観を互いに認め合い、支え—支えられる地域社会をつくっていくことにより、地域で暮らす人たちが、誰一人として取り残されない社会にしていきます。人生100年時代を見据え、すべての区民が自らの人生を豊かに生きていくことができる社会を築いていきます。 | ・誰一人として取り残されない社会という点から、差別の禁止を明記することが必須である。「すべての差別を許さない杉並にします。」と明記してほしい | 〇認め合い 支え合う 様々な価値観を互いに認め合い、支え—支えられる地域社会をつくっていくことにより、地域で暮らす人たちが、誰一人として <u>差別されず</u> 、取り残されない社会にしていきます。「人生 100 年時代」を見据え、すべての区民が自らの人生を豊かに生きていくことができる社会を築いていきます。 | 差別をなくす視点を追記 |
| 7 ページ 第 3 杉並区が目指すまちの姿 | そうした観点から、今後概ね10年程度を展望した「杉並区が目指すまちの姿」を下記のとおり掲げます。 | ・今回杉並区が目指すまちの姿とした「みどり豊かな 住まいのみやこ」は、前回に比べても具体性に欠け基本構想のイメージがわからない 等 | そうした観点から、今後概ね 10 年程度を展望した「杉並区が目指すまちの姿」を、 <u>杉並の個性や特徴を端的に表し、覚えやすく伝わりやすいものとして、</u> 下記のとおり掲げます。 | 「杉並区が目指すまちの姿」の設定のコンセプトを追記 |
| 10 ページ 第 4 分野ごとの将来像と取組の方向性 「防災・防犯」分野 | ■災害に強いまちの基盤づくり 地震に対する備えとして、延焼火災対策となる建物の不燃化の促進、木造住宅密集地域の解消、延焼遮断帯となる都市計画道路の整備、建物倒壊対策となる耐震化の促進、狭あい道路の解消、無電柱化の推進、オープンスペースの確保など、まちの基盤整備を進めます。また、風水害に対する備えとして、雨水流出抑制施設の設置などの流域対策に取り組みます。 | ・「地区特性ごとの記述」や「地域特性を把握と、メリハリ取り組み必要性記述」があって良いのではないかと | ■災害に強いまちの基盤づくり 地震に対する備えとして、延焼火災対策となる建物の不燃化の促進、木造住宅密集地域の解消、延焼遮断帯となる都市計画道路の整備、建物倒壊対策となる耐震化の促進、狭あい道路の解消、無電柱化の推進、オープンスペースの確保など、 <u>地域ごとの特性に応じた</u> まちの基盤整備を進めます。また、風水害に対する備えとして、 <u>区民への迅速な情報提供の一層の充実や</u> 雨水流出抑制施設の設置の <u>推進</u> などの流域対策に取り組みます。 | 地域ごとの特性に応じた取組やメリハリを付けた取組を進めていく視点を追記 |
| 11 ページ 第 4 分野ごとの将来像と取組の方向性 「まちづくり・地域産業」分野 | 〇交通拠点となる区内18駅及び駅周辺を核として、駅勢圏となる住宅地などの特徴や商業・業務機能の集積、歴史・文化の蓄積、大規模公共施設の立地、自然環境など、各駅周辺の特色や魅力を生かしたまちづくりを進めます。 | ・隣接する区市に区民の生活圏となっている駅があるので、まちづくりの対象を区内 18 駅に限定する表記は改めてほしい | 〇交通拠点となる <u> </u> 駅及び駅周辺を核として、駅勢圏となる住宅地などの特徴や商業・業務機能の集積、歴史・文化の蓄積、大規模公共施設の立地、自然環境など、各駅周辺の特色や魅力を生かしたまちづくりを進めます。 | まちづくりを区内の駅に限定せず、区境地域のまちづくりも重要であることから、具体の駅数を削除 |

| 修正箇所 | 答申案 | 意見概要 | 修正後答申(案) | 修正理由 |
|---|--|--|---|---|
| 11 ページ 第 4 分野ごとの将来像と取組の方向性 「まちづくり・地域産業」分野 | (4) 暮らしや環境と調和した地域産業を育み、にぎわいと活力のあるまちをつくる ○区民に身近な商店街や多面的な機能を有する都市農業など、暮らしや環境と調和した地域産業を育成するとともに、多様な人材による創業を支援して、まちのにぎわいと活力を高めます。 | ・商業・工業・農業などの地域産業が、区民の暮らしの安全と安心に貢献していることを明記すべきである | (4) 暮らしや環境と調和した地域産業を育み、にぎわいと活力のあるまちをつくる ○区民に身近な商店街や多面的な機能を有する都市農業など、 <u>環境と調和し、区民の暮らしの安全・安心を支えている地域産業をさらに</u> 育成するとともに、多様な人材による創業を支援して、まちのにぎわいと活力を高めます。 | 地域産業が区民の暮らしの安全と安心を支えているという視点を追記 |
| 13 ページ 第 4 分野ごとの将来像と取組の方向性 「環境・みどり」分野 | (3) みどりを育み、自然と人の営みが共存できるまちづくりを進める ○みどりや水辺などの自然環境を、区・区民・事業者等が協力して守るとともに、防災機能の向上や生物多様性の維持・確保、都市農地の保全など、みどりが持つ多面的な価値や役割を發揮できるまちづくりを進めます。 | ・取組の方向性 (3) を「みどりや水辺を育み、自然と人の営みが共存できるまちづくりを進める」とする | (3) みどり <u>や水辺</u> を育み、自然と人の営みが共存できるまちづくりを進める ○みどりや水辺などの自然環境を、区・区民・事業者等が協力して守るとともに、防災機能の向上や生物多様性の維持・確保、都市農地の保全など、みどりが持つ多面的な価値や役割を發揮できるまちづくりを進めます。 | 他の文章と表現を合わせる観点から文章修正 |
| 17 ページ 第 4 分野ごとの将来像と取組の方向性 「福祉・地域共生」分野 | ○公的な介護によらず、家族や関係者を個別に支えている人(ケアラー)が孤立したり、将来の選択肢を奪われたりすることがない社会をつくりまします。 | ・取組の方向性(3)は、「公的な介護の充実に加えて、家族や関係者を個別に支えている人(ケアラー)が孤立したり、・・・」といった文章に変えたほうが良いと思う | ○公的な介護の <u>充実を図るとともに、これによらず</u> 家族や関係者を個別に支えている人(ケアラー)が孤立したり、将来の選択肢を奪われたりすることがない社会をつくりまします。 | ケアラーの支援だけでなく、公的な介護の充実の視点を追記 |
| 21 ページ 第 4 分野ごとの将来像と取組の方向性 「学び」分野 | ○A I を活用した知識創造型のまちを目指し、これまでの対面による学びの良さを生かしつつ、一人ひとりの状況に応じた学びや探究を支えるICTの活用を図ります。学びの成果を共に教え合うことにより、認め合い、励まし合う、誰一人として取り残さない学びのまちづくりを進めます。 | ・デジタル化について随所に出てくるが、これはあくまでも「手段」であり「目的」ではない。主客が転倒しているものがある | ○A I を活用した知識創造型のまちを目指し、これまでの対面による学びの良さを生かしつつ、 <u>ICTの活用を図り、一人ひとりの状況に応じた学びや探究を支えます。</u> 学びの成果を共に教え合うことにより、認め合い、励まし合う、誰一人として取り残さない学びのまちづくりを進めます。 | ICTの活用は、目的ではなく、取組を進めていく上での手段であることから、文章修正 |
| 26 ページ 第 5 区政経営の基本姿勢 | ○社会経済環境の変化や区民生活に生じる様々な危機に機動的に対応していくことができるよう、健全な財政運営に努めます。 | ・「(1) 時代やニーズの変化に弾力的に対応できる財政基盤を構築する」とあるが、この項目には、「歳出削減」という言葉が必要である | ○社会経済環境の変化や区民生活に生じる様々な危機に機動的に対応していくことができるよう、 <u>行政評価の仕組みを一層活用し、経費や効率性の精査を行うことなどを通じて、健全な財政運営に努めます。</u> | 時代やニーズの変化に弾力的に対応できるよう、絶えず経費や効率性の精査等をしていく視点を追記 |
| 27 ページ 第 5 区政経営の基本姿勢 | — | ・基本構想を長期に亘ってぶれることなく推進するために、区政の評価制度を見直す必要がある。開かれた区政、区政の見える化を推進することは、区民の区政への理解を促進し、区政への関心を高める一助になる | <u>4 区民と共に実現する基本構想</u> <u>基本構想の実現に向けて、区民や地域団体、民間事業者等と区が、この基本構想を共有した上で、力を合わせて共に取り組んでいくことが重要です。</u> <u>そのため、基本構想に基づいて区が別途策定する、総合計画等の進捗状況や達成度について、区民等と区が共に確認しながら、その実現を目指して取り組んでいくこととします。</u> | 基本構想を実現するための、区民参加の促進等の項目を追記 |

○その他の修正【7箇所】

| 修正箇所 | 答申案 | 修正後答申（案） | 修正理由 |
|--|--|--|----------------------|
| はじめに | 私たちの生命や健康そして生活を守り抜くという基礎自治体の使命と責務を果たしていくため、時には、規制や法制度の壁に風穴を開ける新たな試みにチャレンジして、様々な課題を乗り越えてきた10年間であったと受け止めています。 | 私たちの生命や健康そして生活を守り抜くという基礎自治体の使命と責務を果たしていくため、時には、 <u>法や制度</u> の壁に風穴を開ける新たな試みにチャレンジして、様々な課題を乗り越えてきた10年間であったと受け止めています。 | より適切な記述に修正 |
| はじめに | 現基本構想は、令和3年度（2021年度）をもって終期を迎えますが、私たちは、前回の基本構想策定時にも増して、将来の見通しが困難な状況に直面しています。こうした状況の中で私たちに求められていることは、デジタル変革の波をしっかりと捉え、地域社会の様々な課題解決の大いなる力としていくことです。また、課題に向き合っていく際に、これまでの杉並区が取組がそうであったように、何が最善の選択であるかを熟慮し、私たち区民と区が手を携えながら、制度や規制の壁に果敢に挑み、乗り越えていく姿勢がより一層必要となります。 | 現基本構想は、令和3年度（2021年度）をもって終期を迎えますが、私たちは、前回の基本構想策定時にも増して、将来の見通しが困難な状況に直面しています。こうした状況の中で私たちに求められていることは、デジタル変革の波をしっかりと捉え、地域社会の様々な課題解決の大いなる力としていくことです。また、課題に向き合っていく際に、これまでの杉並区が取組がそうであったように、何が最善の選択であるかを熟慮し、私たち区民と区が手を携えながら、 <u>法や制度</u> の壁に果敢に挑み、乗り越えていく姿勢がより一層必要となります。 | より適切な記述に修正 |
| 2ページ 第1 基本構想策定の背景 (3) 現基本構想に基づいた区取組の振り返り | ○現総合計画において掲げられた、区取組の方向性を表す施策ごとの指標（施策指標）の達成度（令和元年度（2019年度）（計画8年目）時点）が80%以上となっている指標の割合が約7割（80%未満の指標：約3割）という状況となっています。 | ○現総合計画において掲げられた、区取組の方向性を表す施策ごとの指標（施策指標）の達成度（令和2年度（2020年度）（計画9年目）時点）が80%以上となっている指標の割合が約〇割（80%未満の指標：約〇割）という状況となっています。 ※網掛け箇所は、現在、区で数値を精査中 | 令和2年度（2020年度）実績に修正 |
| 6ページ 第2 基本構想を貫く3つの基本的理念 | ○認め合い 支え合う 様々な価値観を互いに認め合い、支え—支えられる地域社会をつくっていくことにより、地域で暮らす人たちが、誰一人として取り残されない社会にしていきます。人生100年時代を見据え、すべての区民が自らの人生を豊かに生きていくことができる社会を築いていきます。 | ○認め合い 支え合う 様々な価値観を互いに認め合い、支え—支えられる地域社会をつくっていくことにより、地域で暮らす人たちが、誰一人として差別されず、取り残されない社会にしていきます。「人生100年時代」を見据え、すべての区民が自らの人生を豊かに生きていくことができる社会を築いていきます。 | 他の文章と表現を合わせる観点から文章修正 |
| 11ページ 第4 分野ごとの将来像と取組の方向性 「まちづくり・地域産業」分野 | ○低炭素まちづくりの推進による環境負荷の低減や、民間住宅のバリアフリー化の促進や、道路など災害に強いライフラインの整備、空き家の発生抑制対策などにより、持続可能で住みやすく魅力的なまちづくりを進めます。 | ○低炭素まちづくりの推進による環境負荷の低減や、民間住宅のバリアフリー化の促進、道路など災害に強いライフラインの整備、空き家の発生抑制対策などにより、持続可能で住みやすく魅力的なまちづくりを進めます。 | より適切な記述に修正 |
| 21ページ 第4 分野ごとの将来像と取組の方向性 「学び」分野 | <u>学 び</u> 共に認め合い、みんなで作る学びのまち 将来を予測することが困難な時代において、自分らしい道を切り拓き人生100年時代を豊かに生きるとともに、他者と協働しながら新たな価値を生み出し、より良い地域をつくるためには、誰もが学び続けられる社会が必要です。 区民一人ひとりが共に認め合い、希望を実現することの楽しさを実感しながら、学び合い、教え合うことのできるまちを目指します。 | <u>学 び</u> 共に認め合い、みんなで作る学びのまち 将来を予測することが困難な時代において、自分らしい道を切り拓き「人生100年時代」を豊かに生きるとともに、他者と協働しながら新たな価値を生み出し、より良い地域をつくるためには、誰もが学び続けられる社会が必要です。 区民一人ひとりが共に認め合い、希望を実現することの楽しさを実感しながら、学び合い、教え合うことのできるまちを目指します。 | 他の文章と表現を合わせる観点から文章修正 |

| 修正箇所 | 答申案 | 修正後答申（案） | 修正理由 |
|---|--|--|----------------------|
| 21 ページ 第 4 分野ごとの将来像と取組の方向性 「学び」分野 | (1) 人生100年時代を自分らしくいきいきと生きるための学びを支援する ○将来を予測することが難しい社会を誰もが自分らしくいきいきと生きるため、主体的・対話的で深い学びを通して、生涯学び続ける力を養うことができる環境を整えます。 ○誰もが学び続け、また学び直せる機会を得られ、かつ、他者とかかわり、つながりあいながら、新たな価値を生み出すことや社会の主役となることができる学びの環境を整えます。 | (1) 「人生100年時代」を自分らしくいきいきと生きるための学びを支援する ○将来を予測することが難しい社会を誰もが自分らしくいきいきと生きるため、主体的・対話的で深い学びを通して、生涯学び続ける力を養うことができる環境を整えます。 ○誰もが学び続け、また学び直せる機会を得られ、かつ、他者とかかわり、つながりあいながら、新たな価値を生み出すことや社会の主役となることができる学びの環境を整えます。 | 他の文章と表現を合わせる観点から文章修正 |